



双方向交流の拡大に向けて握手を交わすベンアリ大使と田端長官、田川会長（左から）の三氏

今年9月にイスラエルへ初のチャーター便 東京／テルアビブ間でサンドール国際航空が運航

日本／イスラエル間で今年9月にチャーター便が運航されることになり、東京・一番町のイスラエル大使公邸で2月6日、記者発表が行われました。

記者発表には、観光庁の田端浩長官、国土交通省航空局の堀内丈太郎審議官、外務省中東アフリカ局の森野泰成参考事官、イスラエルのヤッファベニアリ駐日大使などとともに、JATAの田川博己会長も出席

5月に行われた首脳会談で両国関係全体を強化することが確認され、同年9月に二国間の人的交流を拡大させるため、イスラエルで両国の政府当局者などにより将来の直行便実現に向けたチャーター便の可能性について協議され、チャーター便の実施について具体的な調整が行われました。

その結果、サンドール国際航空とワールド航空サービスとのチャーター契約に基づいて、今年9月に東京（成田空港）／テルアビブ（ベンガリオン空港）間でボーイング777-200型機（270席）による初めてのチャーター便を運航することが決定しています。

田川会長は記者発表で、これまでJATAとして首脳外交などで二国間における人的往来の強化で合意した国との間で、日本からの送客を拡大する役割を担つてきましたことに言及し、「昨年

し、日本／イスラエル間でチャーター便が運航されることになった経緯や背景、概要や意義などについて説明しました。

日本とイスラエルの間では、2018年

5月に日本とイスラエルが合意した双方間交流の具体策として、関係者の努力により

チャーター便の運航が実現することになったのは大変喜ばしい」と挨拶。2015年に同行し、直後に実施したウズベキスタンへには安倍晋三首相による中央アジア訪問のチャーター便が年を追って増加するなど、「着実に人的往来の拡大に貢献してきていい」ことを強調しました。

5月に行われた首脳会談で両国関係全体

きたい」と意欲を示しています。

今回のチャーター便では、ワールド航空

サービスとクラブツーリズム、阪急交通社の

3社によって旅行商品が企画販売されるこ

とになつており、日本からのツアーは、9月14日から21日までの8日間にわたって、イスラエルの文化や歴史、伝統ワイン、食などの魅力を堪能できるようなツアー商品が3

月末までに発表される予定です。

田川会長は、「地中海に面した美しい国

であるイスラエルには、エルサレムの旧市街やマサダ国立公園などの世界遺産、浮遊体験の楽しめる死海など、ユニークな観光資源が豊富だ」と説明。「今回のチャーター便を契機に、イスラエルへの旅行商品造成が促進されることになるだろう」と期待を表明しました。

田川会長によると、2017年における日本とイスラエルの二国間での相互交

流は、イスラエルを訪れた日本人旅行者が1万7000人、日本を訪れたイスラエル人旅行者が3万3000人で、2018年には訪日イスラエル人旅行者が前年比

9.1%増の3万6000人を記録するなど、どちらも増加傾向にあります。

今年9月の日本／イスラエル間のチャーター便運航は、昨年9月に観光庁・国交省・外務省とともにJATAもイスラエルを訪問し、イスラエルの観光省・外務省との協議を通じて、チャーター専門航空会社であるサンドール国際航空と交渉を行い、双方同チャーターの実施で合意しました。田川会長は、「初年度としてはチャーター便の運航は1便ではあるものの、双方でチャーター旅行が実現されるという素晴らしいケースであり、これを契機に、今後も日本とイスラエルの間でチャーター便の運航を拡大してい



中央に黄金のドームが聳えるエルサレム旧市街の遠望

「韓国絶品グルメ30選」決定

JOTC東アジア部会 食を中心に需要拡大

JATAはこのほど、アウトバウンド促進協議会（JOTC）東アジア部会による部会活動の一環として「韓国絶品グルメ30選」を決定、韓国地方都市への需要拡大に向けて食を中心とした観光素材の発掘と商品化を推進します。

韓国地方都市の魅力を伝える

JOTC東アジア部会の韓国ワーキンググループでは、日本人に馴染みの深い韓国料理を本場の地方都市で味わつても

げることで、現在の訪韓日本人旅行者による「ソウル一極集中」の状況を緩和するすると同時に、平均単価や滞在日数の底上げを図るため、韓国観光公社（KTO）

の協力により、100を超える韓国各都市の名物料理の中から30の料理を選定しました。

JOTC東アジア部会の部会長を務める江利川宗光社長【写真】は2月14日に行われた記者

発表で、「日本のお客様に韓国の魅力をより深く知ったために、韓国の人気グルメに着目した」と説明。江利川社長は、「(1)本場の味を届けたい、(2)まだ味わつたことのない料理を紹介したい、(3)

ききっかけに上昇傾向にあり、この機を捉えて「韓国絶品グルメ30選」をキャン

ペーン展開することで、日本から韓国へ

の旅行需要回復に弾みをつける方針で

市も含めてプランナーと販売店を対象に「韓国絶品グルメ30選セミナー」を開催するほか、4月には韓国へのファムツアーリンクして以降、低迷が続いていたものの、2018年の平昌での冬季五輪を

東アジア部会では、3月中旬から地方都

方都市の魅力を伝えたい、という4点にこだわって選定を行ったことを強調しています。

江利川社長によると、韓国を訪れる日本人旅行者数は2012年に過去最高を記録して以降、低迷が続いていたものの、2018年の平昌での冬季五輪をきっかけに上昇傾向にあり、この機を捉えて「韓国絶品グルメ30選」をキャンペーン展開することで、日本から韓国への旅行需要回復に弾みをつける方針です。

プランナー向けにセミナー開催

すでに2月末からJATA会員各社で

から8月にかけて、JOTC東アジア部会の韓国ワーキンググループの登録団体から候補となるグルメを募集し、9月から10月にかけて旅行会社と航空会社の社員による選考者とKTO東京支社の意見を参考に「プロが選んだ30選」として最終決定されました。



ジャルパックの江利川宗光代表取締役社長



「韓国絶品グルメ30選」のキャンペーンロゴ

「韓国絶品グルメ30選」

全州ビビンバ=全州(全羅北道)／水原王(ワン)カルビ=水原(京畿道)／黒豚焼肉=済州(済州特別自治道)／サムゲタン(参鶏湯)=大田(大田広域市)／ソルロンタン=大田(大田広域市)／テジクッパ=釜山(釜山広域市)／ジャージャー麺=仁川(仁川広域市)／春川タッカルビ&マックッス=春川(江原道)／サムギョプサル=清州(忠清北道)／全州マッコリ=全州(全羅北道)／ユッケビビンバ=醴泉郡(慶尚北道)／ブヂチゲ=議政府市・平沢市(京畿道)／ワタリガニ料理=仁川・松島(仁川広域市)／カムジャタン=全州など(全羅北道)／アワビの釜飯=済州(済州特別自治道)／機張(キジャン)大蟹=釜山(釜山広域市)／アワビ料理=莞島郡(全羅南道)／ナクチポックム=釜山(釜山広域市)／カルグクス=公州(忠清南道)／横城韓牛=横城郡(江原道)／松茸料理=襄陽郡(江原道)／マクチャーン=大邱(大邱広域市)／松汀(ソンゾン)トッカルビ=光州(光州広域市)／蓮の葉包みごはん=扶余(忠清南道)／安東チムタク=安東(慶尚北道)／羅州コムタン=羅州市(全羅南道)／高敞 風川うなぎ=高敞(全羅北道)／チムカルビ=大邱(大邱広域市)／ナクチ料理=務安郡(全羅南道)／馬山アグチム=昌原(慶尚南道)

本部・支部活動報告



カバールUNWTO事務局長代理（右）
と澤邊所長

UNWTO本部を表敬訪問 JATA国際センターの澤邊所長

JATA国際センターの澤邊宏所長は1月21日から24日までの4日間にわたり、スペインを訪れ、マドリッドで国連世界観光機関（UNWTO）のズラブ・ボリカシユビリ事務局長を表敬訪問したほか、スペイン語圏最大の国際観光商談会「FITUR 2019」に参加し、「FITUR 2019」会場で実施されたUNWTOの主催によるワークショップ討論会に登壇しました。

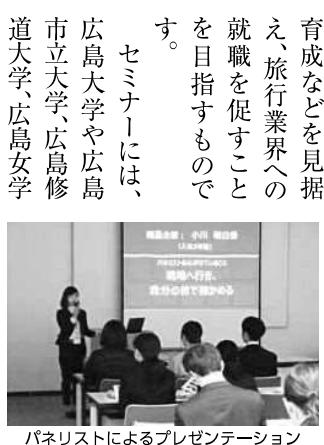
ポロカシユビリ事務局長とハイメ・カバール事務局長代理との会談では、今年10月に開催される「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2019 大阪・関西への参加」と観光大臣会合のTEJとJATA会長による共催について、田川博己JATA会長からの要請を伝え、快諾を得ています。

国際討論会にも登壇

また、『FITUR 2019』初日に実施されたUNWTO主催による国際討論会「アジアにおける国際観光の成長を支える成功要因とは」に出席。中国、イラン、PATA、国連などの登壇者とともに議論

を交わし、双方の交流の拡大という視点から国際旅行の必要性を訴えるとともに、若年層に焦点を合わせた人材開発と育成が持続可能な観光の成長を支える取り組みとして重要であることなどを強調しました。

さらに、討論会では、JATAで実施している「教育研修プログラム」にも言及し、要請があれば内容の共有が可能であることを討論会の参加者に呼びかけています。



パネリストによるプレゼンテーション

院大学、広島経済大学など広島市内の大学だけでなく、山口大学や岡山理科大学、立命館大学、新潟大学といった広島県外の大学や専門学校なども合わせて14校・32人が参加しました。

【募集の「J案内】

「働き方・休み方改革、ダイバーシティ推進」に関するJATA会長表彰

JATAでは、2018年度「働き方・休み方改革、ダイバーシティ推進」に関するJATA会長表彰について、優れた活動や制度などの取組事例を募集しています。

選考対象となるのは、2018年1月から12月までの事業年度内の取り組みで、応募・推薦の締め切りは3月29日です。

詳細は、左記URLのホームページをご覧ください。

中四国支部が「旅行业界研究セミナー」開催

JATA中四国支部は2月21日、広島市の広島グリーンアリーナで「旅行业界研究セミナー」を開催しました。

同セミナーは、大学生や就職希望者に旅行業界への理解を深めてもらい、政府が推進する主要施策である「観光立国」の実現や2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けた観光人材の確保、育成などを見据え、旅行業界への就職を促すことを目指すものです。

セミナーには、

広島大学や広島市立大学、広島修道大学、広島女子大学

東北支部

3月5日 総務委員会

2月12日 業務改善委員会
2月15日 教育旅行委員会
2月18日 総務委員会
2月18日 訪日旅行委員会
2月26日 国内旅行委員会
3月5日 幹事会

中部支部

2月13日 海外旅行委員会
2月14日 国内（訪日）・地域振興合同委員会
2月19日 研修委員会
2月21日 幹事会
2月28日 八相会

3月1日 海外旅行委員会
3月6日 インバウンド委員会
3月7日 LADY JATA委員会

関東支部

3月1日 海外旅行委員会
3月5日 総務委員会
3月6日 インバウンド委員会
3月7日 LADY JATA委員会

北海道支部

2月20日 旅行業界研究セミナー
2月21日 消費者相談委員会
2月26日～3月2日 幹事会観察旅行（マレーシア）

中四国支部

2月13日～16日 パンコクTITF視察・TATA表敬訪問
2月21日 学生向け旅行业界研究セミナー

九州支部

2月19日 旅行業務に関する説明会
2月27日 大分県地区委員会苦情対応セミナー
3月8日 貸切バス適正化センター訪問委員会

沖縄支部

2月25日 幹事会